

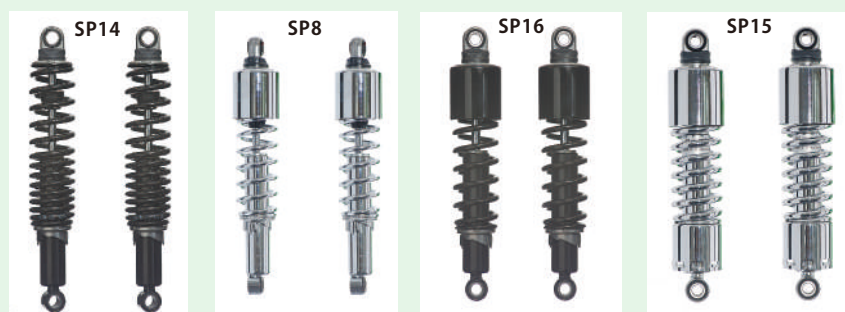
SUSPENSION TYPE



シリーズ 7610

- ※鋼スプリング
- ※イニシャル・プリロード3段階調整
- ※リバンド・ダンパー(伸び側減衰力) 4段階調整 ダイヤル回すだけ!

7610 - STD	メッキボディ・黒スプリング
7610 - SP14	黒ボディ・黒スプリング
7610 - SP8	メッキボディ・メッキスプリング・メッキカバー
7610 - SP16	黒ボディ・黒スプリング・黒カバー
7610 - SP15	メッキボディ・メッキスプリング・上下メッキカバー



▶ スプリングの色やカバーの色を変えたり、自分のオリジナルなデザインにしてみませんか？

カスタム
承ります



シリーズ 3610

- ※モノサスペンション
- ※鋼スプリング
- ※ガス・アシスト式
- ※イニシャル・プリロード無段階
- ※リバンド・ダンパー(伸び側減衰力) 4段階調整 ダイヤル回すだけ!

シリーズ 76

- ※鋼スプリング
- ※イニシャル・プリロード3段階調整

シリーズ 7614

- ※鋼スプリング
- ※イニシャル・プリロード無段階
- ※リバンド・ダンパー(伸び側減衰力) 4段階調整
- ※ガス加圧式&軽量アルミボディ

シリーズ 3214

- ※鋼スプリング
- ※イニシャル・プリロード無段階
- ※リバンド・ダンパー(伸び側減衰力) 4段階調整
- ※単筒式-ガス加圧式&軽量アルミボディ



IKON サスペンションの調整機構

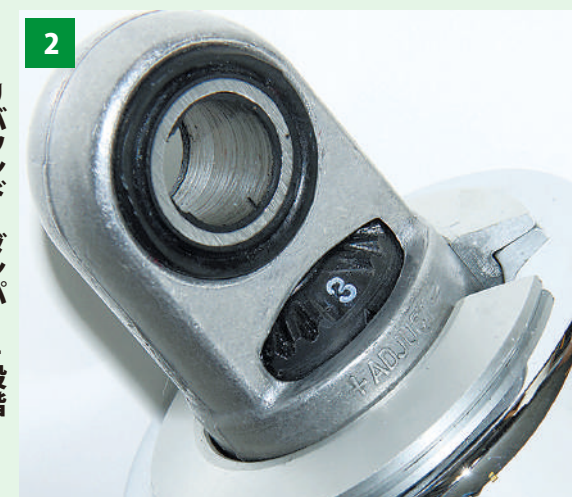
[[KON]] サスペンションには、ご自分の車両に適合するユニットを装着されてから、さらに期待する乗り心地や性能を発揮させるために、使用状況や走行状態に応じた調整ができるような機構を持っています。それは (1) スプリングのイニシャル・プリロード調整機構と、(2) リバウンド・ダンパー(伸び側減衰力)調整機構です。



1
スプリングの
イニシャル・プリロード調整機構

スプリングのイニシャル・プリロード調整機構

KONI 譲りの3段階プログレッシブプレート・不等ピッチスプリングに、乗車重量(体重や荷物の重量)や走行状況によって異なる走行荷重に応じて、プリロード(初期荷重=ユニットに圧縮してセットされた状態の荷重)を3段階で変更・調整できます。カンタンな例を挙げれば、ツーリングで重い荷物を載せたり、タンデム走行をするときは、いつもよりサスペンションが沈み込み車体後部が下がった姿勢になります。それをプリロード調整でスプリングを圧縮させ予めセット荷重をかけておくことで、普段の姿勢を回復・保持することができます。プリロード調整には付属のフックレンチを使用します。



2
リバウンド・ダンパー
(伸び側減衰力)調整機構

リバウンド・ダンパー(伸び側減衰力)調整機構

サスペンションにはスプリングの他に、ダンパーユニットがあります。これはスプリングに荷重がかかることで発生する伸縮運動(圧縮/反発を繰り返す振動)を、油圧の力で減衰・収束させる働きをします。このダンパー機構は主に反発時(伸びる)の速度を減衰させる効果を発揮し、バウンドによって車体が上下する動きを素早く落ち着かせる力を“減衰力”と言い、この伸び側減衰力を調整する機構を[[KON]] サスペンションは持っているのです。調整方法はユニット上部のゴムカバーをめくると現れるダイヤルを指で回し、最弱/1-最強/4の範囲で調整します。最弱では俊敏かつ軽快に動かした車体が、最強ではシットリ落ち着き動きが重くさえ感じることもあります。使用状況/走行状態/路面状況に応じて、好みの効果を選びセットします。